

「地域がん診療連携拠点病院」としての「地域がん診療病院」北信総合病院との連携について

平成 27 年 4 月、当院は地域がん診療連携拠点病院の指定更新に併せ、県内初の「地域がん診療病院」である北信総合病院とのグループ指定を受けました。長野赤十字病院は北信総合病院と連携・協力しながら、地域のがん診療の充実を図っています。

今年度上半期には次のような連携を行ってまいりました。

- 合同で総合カンファレンス（カンサーボード）を実施し、双方の症例について検討したうえで、連携・協力し治療にあたっています。しばらくは、当院の総合カンサーボードへ北信総合病院スタッフが参加するかたちで開催しています。
- 当院のがん化学療法に関する委員会に北信総合病院から出席していただき、レジメン（がんの薬物療法を安全に行うために薬の種類や量、方法などを時系列で示した治療計画書）の審査や情報交換を行い、標準的な化学療法を提供する体制を整えています。下半期には北信総合病院の委員会に当院スタッフが参加する計画です。
- 北信総合病院の診療機能確保のための人材交流として、『緩和ケア認定看護師』『がん化学療法看護認定看護師』を院内研修として受け入れました。また、放射線治療部門における専門放射線技師の院内研修については、諸事情により実施が難しいところではありますが、電話等による情報交換・連携を密に行っています。
- 検査や治療の紹介、またはセカンドオピニオン等については、両院が連携をとりながら診療していることを説明し、患者さん本人・家族のご意向を尊重させていただき対応しています。
- 『がん相談支援センター』は、がんのことなら“何でも”“どなたでも”相談していただける相談窓口として両院とも力を入れています。6 月には北信総合病院のがん相談員を院内研修として受け入れ、情報交換することにより相談内容の充実につなげています。今後は連絡会議等を開き、引き続き情報の共有に努めます。
- 北信総合病院主催で開催される医師のための緩和ケア研修会に、当院から講師を派遣します。

今後も両院の連携を密にして「がん診療」に取り組んでまいります。

	
総合合同カンサーボード	がん化学療法検討部会

平成 27 年 8 月 31 日

長野赤十字病院 がん診療連携課